



## 2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月6日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ TEL 03-3486-3331  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年11月期第1四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	107,674	7.1	1,656	△75.4	1,913	△73.2	1,267	△71.6
2022年11月期第1四半期	100,536	6.9	6,732	6.5	7,151	8.3	4,455	△1.5

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 △2,195百万円 (—) 2022年11月期第1四半期 6,752百万円 (10.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	9.12	—
2022年11月期第1四半期	32.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	394,602	288,331	66.4
2022年11月期	403,384	294,623	66.4

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 262,135百万円 2022年11月期 267,657百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	20.00	—	27.00	47.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期 (予想)	—	23.00	—	27.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	2.3	14,000	△45.0	15,800	△42.0	8,500	△47.0	61.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年11月期1Q	141,500,000株	2022年11月期	141,500,000株
2023年11月期1Q	2,496,180株	2022年11月期	2,495,894株
2023年11月期1Q	139,003,985株	2022年11月期1Q	139,004,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループは、国際的な穀物・エネルギー相場が高値で推移していることに加え、高病原性鳥インフルエンザの感染が過去に類を見ないほど国内のみならず世界的に拡大しており、依然として厳しい経営環境となっています。このような環境において、国内では市場担当制を活かしお客様の多様化するニーズに対応するとともに、収益性の高い体質づくり、新たな価値提案の実現に向けて取り組んでいます。海外では、引き続き中国・東南アジア・北米を中心にKEWPIEブランドの浸透を加速させ、成長ドライバーとして拡大を進めています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、業務用で鶏卵価格の高騰により相場連動するタマゴ商品の販売価格が上昇したことや、海外で東南アジアの安定した成長により増収となりました。営業利益は、主原料およびエネルギー・一般原資材の高騰影響を強く受けたことにより減益となりました。経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減少により減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	100,536	107,674	7,138	7.1%
営業利益	6,732	1,656	△5,076	△75.4%
経常利益	7,151	1,913	△5,238	△73.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,455	1,267	△3,188	△71.6%

## ◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	42,642	41,922	△720	△1.7%
業務用	35,981	41,713	5,732	15.9%
海外	14,314	16,047	1,733	12.1%
フルーツ ソリューション	3,726	3,809	83	2.2%
ファインケミカル	2,471	2,834	363	14.7%
共通	1,400	1,346	△54	△3.9%
合計	100,536	107,674	7,138	7.1%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	4,006	1,640	△2,366	△59.1%
業務用	1,771	463	△1,308	△73.9%
海外	1,895	1,119	△776	△40.9%
フルーツ ソリューション	37	11	△26	△70.3%
ファインケミカル	42	△429	△471	—
共通	382	399	17	4.5%
全社費用	△1,402	△1,547	△145	—
合計	6,732	1,656	△5,076	△75.4%

<市販用>

- ・調味料の価格改定による需要減やカット野菜の売上減少により減収
- ・主原料高騰等による影響を受け減益

<業務用>

- ・タマゴ商品の販売価格が鶏卵相場の高騰により上昇し増収
- ・主原料高騰等による影響を受け減益

<海外>

- ・東南アジアや北米が好調に推移し増収
- ・中国にて新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け減益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドの価格改定効果などにより増収となったものの、原資材高騰影響を受け減益

<ファインケミカル>

- ・通信販売が好調に推移し増収となったものの、広告宣伝を強化したことなどにより減益

<共通>

- ・外部向け原料販売の売上減少などにより減収となったものの、販管費の削減により増益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,946億2百万円と前連結会計年度末に比べ87億82百万円減少  
主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少による
- ・負債は、1,062億71百万円と前連結会計年度末に比べ24億90百万円減少  
主に未払金の減少と流動負債のその他に含まれる返金負債の増加による
- ・純資産は、2,883億31百万円と前連結会計年度末に比べ62億92百万円減少  
主に利益剰余金、為替換算調整勘定の減少による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2023年1月10日に公表しました2023年11月期の連結業績予想は、本日（2023年4月6日）発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2023年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。修正計画の詳細については、「2023年11月期 第1四半期決算補足説明資料」に記載していません。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	57,825	49,426
受取手形及び売掛金	59,414	57,279
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	20,867	20,397
仕掛品	2,659	2,540
原材料及び貯蔵品	13,551	14,232
その他	3,524	6,030
貸倒引当金	△115	△156
流動資産合計	167,726	159,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,131	161,926
減価償却累計額	△97,130	△97,969
建物及び構築物（純額）	65,001	63,957
機械装置及び運搬具	153,551	153,274
減価償却累計額	△111,171	△111,432
機械装置及び運搬具（純額）	42,379	41,841
土地	30,529	30,464
リース資産	5,544	5,420
減価償却累計額	△2,048	△1,931
リース資産（純額）	3,496	3,489
建設仮勘定	3,446	3,679
その他	13,223	13,192
減価償却累計額	△11,027	△11,088
その他（純額）	2,196	2,104
有形固定資産合計	147,050	145,536
無形固定資産		
のれん	364	319
ソフトウェア	13,768	13,750
その他	1,506	2,066
無形固定資産合計	15,639	16,136
投資その他の資産		
投資有価証券	45,633	44,944
長期貸付金	850	827
退職給付に係る資産	18,656	18,884
繰延税金資産	2,749	3,289
その他	5,198	5,352
貸倒引当金	△119	△120
投資その他の資産合計	72,969	73,177
固定資産合計	235,658	234,850
資産合計	403,384	394,602

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,051	30,477
短期借入金	3,058	17,964
未払金	17,001	13,264
未払費用	2,118	2,915
未払法人税等	2,157	1,354
賞与引当金	1,487	2,757
役員賞与引当金	74	21
その他	6,303	7,411
流動負債合計	65,252	76,168
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,070	999
リース債務	3,337	3,856
繰延税金負債	9,558	9,025
退職給付に係る負債	2,840	2,974
資産除去債務	267	268
その他	1,434	2,979
固定負債合計	43,508	30,103
負債合計	108,761	106,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,634	28,638
利益剰余金	203,515	201,030
自己株式	△5,840	△5,841
株主資本合計	250,413	247,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,348	9,156
繰延ヘッジ損益	△1	17
為替換算調整勘定	5,911	3,064
退職給付に係る調整累計額	1,985	1,964
その他の包括利益累計額合計	17,244	14,203
非支配株主持分	26,965	26,196
純資産合計	294,623	288,331
負債純資産合計	403,384	394,602

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	100,536	107,674
売上原価	69,845	80,969
売上総利益	30,691	26,705
販売費及び一般管理費	23,958	25,049
営業利益	6,732	1,656
営業外収益		
受取利息	52	107
受取配当金	174	185
持分法による投資利益	187	129
その他	158	116
営業外収益合計	572	538
営業外費用		
支払利息	55	105
その他	98	175
営業外費用合計	153	281
経常利益	7,151	1,913
特別利益		
受取補償金	—	249
固定資産売却益	1	1
その他	248	46
特別利益合計	250	297
特別損失		
固定資産除却損	170	155
退職給付制度終了損	—	103
関係会社株式評価損	—	99
その他	106	0
特別損失合計	277	359
税金等調整前四半期純利益	7,124	1,851
法人税等	2,200	413
四半期純利益	4,923	1,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	468	171
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,455	1,267

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	4,923	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△175
繰延ヘッジ損益	△4	24
為替換算調整勘定	1,398	△3,031
退職給付に係る調整額	376	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	67	△428
その他の包括利益合計	1,828	△3,634
四半期包括利益	6,752	△2,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,904	△1,773
非支配株主に係る四半期包括利益	848	△422

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用

米国会計基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より米国会計基準ASU第2016-02号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則すべてのリースについて資産および負債を認識しています。本会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

なお、本会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	42,642	35,981	14,314	3,726	2,471	1,400	100,536	—	100,536
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	42,642	35,981	14,314	3,726	2,471	1,400	100,536	—	100,536
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	188	1,228	467	53	84	2,957	4,979	△4,979	—
計	42,830	37,210	14,781	3,780	2,555	4,357	105,516	△4,979	100,536
セグメント利益	4,006	1,771	1,895	37	42	382	8,135	△1,402	6,732

(注)1. セグメント利益の調整額△1,402百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年2月28日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	41,922	41,713	16,047	3,809	2,834	1,346	107,674	—	107,674
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	41,922	41,713	16,047	3,809	2,834	1,346	107,674	—	107,674
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	221	1,222	81	82	93	3,114	4,815	△4,815	—
計	42,143	42,935	16,129	3,892	2,928	4,461	112,490	△4,815	107,674
セグメント利益 又は損失（△）	1,640	463	1,119	11	△429	399	3,203	△1,547	1,656

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,547百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。